

基本目標

第5 活力ある産業拠点のまち

[展開方針]

- 1 農業の振興
- 2 優良農地の確保
- 3 林業の振興
- 4 内水面漁業の振興
- 5 工業の振興
- 6 高度技術産業の集積
- 7 商業の振興
- 8 流通機能の充実
- 9 観光の振興
- 10 雇用の安定

現状と課題

- 千歳市は、農業基盤整備をもとに大規模経営と近代化を進め、石狩管内においても有数の農業生産地帯となっており、小麦、てん菜、大豆、野菜など畑作を中心として、畜産なども盛んに行われています。
- 近年、グリーン・ツーリズム[※]の活動が注目される中、直売所や観光農園、農業体験への取組も行われ、今後も推進していく必要があります。
- 農畜産物の高付加価値化、地域ブランドの確立、販路拡大のため、農商工連携[※]による地域活性化の動きが広がっています。
- 農業者の高齢化や後継者不足などにより生産力の低下が懸念されており、農業の体質強化や中核農家の育成、後継者や新規就農者の育成・支援などに広域的に取り組む必要があります。
- 輸入農畜産物が増大する中、消費者が求める安全・安心な農畜産物の供給が求められており、人と環境にやさしい農業経営の推進が必要となっています。

基本方向

- 農業の振興による地域の活性化を図るため多面的な取組を推進します。
- 農地の集積による経営規模の拡大や施設整備、集約型農業を推進し、経営の体質強化を図ります。
- 各団体が実施しているイベントを通じて地産地消[※]の推進やグリーン・ツーリズム[※]活動などによる都市と農村の交流を図ります。
- 商工業者や農業関係機関・団体等と連携し、付加価値の高い農畜産物の生産拡大や地域産業の活性化を図ります。
- 農業関係機関と連携し、認定農業者[※]や農業後継者の育成・確保を図るとともに、他産業から新規就農者の受入れを促進し、担い手不足の解消に努めます。
- 消費者の食の安全・安心に対するニーズの高まりに応じられる農畜産物の生産と生産体制の整備を図ります。
- 酪農家が安心して牛を預託できるよう市営牧場の整備を図ります。

施策体系

1 農業の振興

- (1) 農業経営の強化
- (2) 農業の担い手の育成・確保
- (3) 環境と調和した農業の推進
- (4) 都市と農村の交流促進

施策

(1) 農業経営の強化

目指すこと

農地の集積や農作業の効率化を促進するとともに、営農指導の強化、農畜産物の振興など経営支援を行い、農業経営の強化を図ります。

取組の方向

- ・ 商工業者、流通業者、農業関係機関・団体等と連携し、付加価値の高い農畜産物の生産を図るとともに、農畜産物を生かした地域特産品の開発や販路拡大に努めます。
- ・ 栽培・飼養技術などの指導や新技術の導入、農作業の効率化の推進、防疫^{*}や有害鳥獣駆除、各種資金の活用による農家の負担軽減など、関係機関・団体と連携して、多様な農業の形態に即した農業経営の強化を図ります。
- ・ 市営牧場を利用する酪農家が安心して牛を預託できる牧場の管理運営を行うため、畜舎等の施設や農業機械の整備・充実等を図ります。
- ・ 経営の合理化、規模拡大を図るため、農地の利用調整や集積に取り組みます。

施策成果指標

指標名	指標の内容	現状値	H27 目標値	H32 目標値
資金活用件数	各種資金の活用件数	H21 17件	25件	30件
酪農ヘルパー組合の加入割合	酪農ヘルパー組合に加入している農家の割合	H21 62%	70%	80%
担い手への農地集積の割合	作付規模拡大等による担い手への農地の面的集積割合	H21 56%	77%	80%

(2) 農業の担い手の育成・確保

目指すこと

認定農業者^{*}制度の活用により情報化や技術の高度化に対応する担い手の育成を行うとともに、新たな担い手となる新規農業参入者の育成と確保に努めます。

取組の方向

- ・ 農業経営に意欲のある認定農業者^{*}を育成するため、国などの補助・助成制度を活用し営農体質の強化を図ります。
- ・ 農業者の経営力向上を図るため、財団法人道央農業振興公社が開催する各種農業研修会への参加を促進します。
- ・ 将来の担い手を確保するため、財団法人道央農業振興公社と連携し新規就農者の受入れ体制の整備を図ります。
- ・ 農村地域の生活基盤の改善を促進し、定住環境の向上に努めます。



施策成果指標

指標名	指標の内容	現状値		H27 目標値	H32 目標値
認定農業者 [※] 数	経営基盤強化法により、市が経営改善計画を認定した農業者数(累計)	H21	178人(団体)	190人(団体)	200人(団体)
研修会への参加者数	財団法人道央農業振興公社が実施する各種研修会への延べ参加者数	H21	491人	550人	600人
新規就農研修者数	新規就農のための研修に取り組んでいる研修者数	H21	2人	5人	7人

(3) 環境と調和した農業の推進

目指すこと

たい肥等を活用した土づくりと化学肥料・農薬の使用の低減など、環境との調和に配慮したクリーン農業[※]を推進します。

取組の方向

- ・減農薬、減化学肥料技術の普及を図ります。
- ・たい肥など有機物の土壌還元による地力の増進を図ります。
- ・農業用廃資材の適正な処理を進めます。

施策成果指標

指標名	指標の内容	現状値		H27 目標値	H32 目標値
エコファーマー [※] 認定農家割合	エコファーマー [※] の認定を受けた農家の割合	H21	28%	45%	60%

(4) 都市と農村の交流促進

目指すこと

農業体験などを通じた都市と農村の人々の交流、農業まつりや農産物直売所での農産物販売を通じた地産地消[※]の推進など、都市と農村の交流促進を図ります。

取組の方向

- ・観光農園、農業体験、農産物直売所などを通じてグリーン・ツーリズム[※]を促進します。
- ・農業まつりをはじめとする各種イベント、農産物直売所などを通じ、地産地消[※]の取組を推進します。
- ・地域振興のため農地の利用増進や農産物加工販売などの促進に努めます。
- ・都市と農村の交流促進のため、グリーン・ツーリズム[※]関連施設の更なる充実や農業者等で組織する連絡協議会の育成に努めます。

施策成果指標

指標名	指標の内容	現状値		H27 目標値	H32 目標値
グリーン・ツーリズム [※] 関連施設数	農村地域における農業体験施設や農産物直売所などの施設数	H21	38 施設	40 施設	50 施設
農業まつりなどへの参加者数	農業まつりやとりたて野菜市などへの参加者数	H21	2,000 人	5,000 人	7,000 人



ハスカップ



田園地帯



農業体験

用語解説

- グリーン・ツーリズム**……都市住民などが緑豊かな農山漁村地域で、その地域の自然や産業、食、文化、人々との交流などを楽しむ滞在型の余暇活動のこと。
- 農商工連携**……地域の農林水産業と商工業、観光関連産業などが連携し、新しい商品やサービスを生み出す取組のこと。平成 20 年（2008 年）には、農林水産省と経済産業省の連携により「中小企業者と農林漁業者との連携による事業活動の促進に関する法律（農商工等連携促進法）」が施行され、認定された事業計画には国の支援が受けられる。
- 地産地消**……地域で生産された生産物等を、その地域で消費すること。「地域生産・地域消費」を略した言葉。
- 認定農業者**……「農業経営基盤強化促進法」に基づき、市から農業経営改善計画の認定を受けた農業経営者のこと。地域農業の担い手としての取組が期待され、認定を受けると、金融面や税制面などの支援を受けることができる。
- 防疫**……感染症（伝染病）の発生・伝播（侵入）を予防すること。近年、家畜などの口蹄疫や BSE、鳥インフルエンザなどの感染症が発生し、動植物の防疫対策が重要視されるようになった。
- クリーン農業**……たい肥などの有機物を使用し、化学的な肥料や農薬の使用を抑制するなど、環境に配慮しつつ安全・安心で品質の高い農産物を生産する農業の取組のこと。
- エコファーマー**……「持続性の高い農業生産方式の導入に関する法律」に基づき都道府県知事が認定した農業者のこと。たい肥等による土づくりと化学肥料、化学農薬の使用の低減に一体的に取り組み、環境にやさしい農業を実践する。

現状と課題

- 国内の平成 21 年度（2009 年度）の食糧自給率は 40%（カロリーベース）であり、先進国の中では極めて低い状況となっています。また近年、輸入農産物から残留農薬が検出されるなど、消費者の食の安全・安心に対する意識が高まってきており、国内産の農産物を買求める傾向が強くなっています。
- 限られた国土の中で耕作地を拡大することは難しく、国内で消費する食糧の全量を生産することは不可能であるため、単位面積当たりの生産量の増加を図ることが必要です。
- 千歳市は、石狩管内でも屈指の農業産出額を誇っていますが、水稻、小麦、大豆の単位面積当たりの生産量は石狩管内の平均より低い結果となっており、今後も農業生産基盤の整備を推進し、生産性を高めていくことが求められています。
- 千歳市が管理する農業用施設は過去に土地改良事業で整備したものですが、施設の老朽化や経年変化による機能低下、破損などが生じており、今後施設の改修・維持管理に多大な費用を要することが課題となっています。
- 近年の気象の変化により台風、大雨、局地的降雨など、予想外の自然災害が発生しており、農業分野においても災害を防止する必要があります。
- 国が策定した「石狩川水系千歳川河川整備計画」では根志越地区に遊水地[※]が計画されており、広大な農地が亡失します。そのため、代替農地の確保とそれに要する土地基盤整備が必要となります。

基本方向

- 国や北海道の高率な補助制度による土地改良事業を推進することにより、単位面積当たりの生産量の増加、農作業の効率化や農業経営の安定化を目指します。
- 農業用施設の適正管理と機能保持に努め、風水害から農地を守ります。

施策体系

2 優良農地の確保

- (1) 生産性の高い土地基盤整備の推進
- (2) 農業用施設の適正管理による災害防止

施策

(1) 生産性の高い土地基盤整備の推進

目指すこと

農業用水の確保や農地の生産性の向上を図るため、土地基盤整備を推進します。

取組の方向

- 農業用水の安定的な供給を図るため、農業用水路の整備を推進します。
- 生産性の高い優良農地の確保を図るため、暗渠[※]排水や客土等による農地の整備を推進します。

施策成果指標

指標名	指標の内容	現状値		H27 目標値	H32 目標値
土地改良事業実施済面積	土地改良事業の暗渠 [※] 、客土などの農地整備を実施した面積(累計)	H21	3,219 ha	3,232 ha	3,262 ha

(2) 農業用施設の適正管理による災害防止

目指すこと

農業用施設の適正な管理に努めるとともに、排水路、排水機場や耕地防風林の機能を維持し農業への災害を未然に防ぎます。

取組の方向

- 農業用排水路施設の機能維持・増進のため、排水路の土砂上げ、草刈、補修に努めます。
- 排水機場の日常管理に努め、施設の機能維持・増進を図ります。
- 耕地防風林の適正な管理に努め、施設の機能維持・増進を図ります。
- 経年変化により老朽化した施設の機能診断を行い、劣化の状況に応じた改修を進めます。
- 農地・水・環境の良好な保全と質的向上を図る地域協働の取組を支援します。

施策成果指標

指標名	指標の内容	現状値		H27 目標値	H32 目標値
風水被害防止面積率	土地改良受益地において、農業用施設の管理に起因する風水被害を防止した面積の割合	H21	100%	100%	100%

用語解説

遊水地……………洪水時の河川の流水を一時的に貯留させる土地のこと。

暗渠……………地中に埋設又はふたで覆いをした河川や水路のこと。なお、地上部に造られふた掛けなどがされていない水路は明渠（又は開渠）という。

3 林業の振興

現状と課題

- 千歳市の森林・原野は全市域の55%を占めており、そのうち約85%は市街地西部から国立公園支笏湖地域まで広がる国有林になっています。
- 千歳市では、森林法に基づき各種施策を推進していますが、民有林にあっては、長期にわたり木材価格が低迷する中で林業施業費の増加などにより、除間伐などの施業が難しくなっています。また、林業の担い手不足も続いており、林業環境は大変厳しい状況にあります。
- 近年、地球環境の保全の観点から、地球温暖化防止、水源かん養^{*}、災害防止といった国土保全の多面的機能を持つ森林の役割が重要視されており、千歳市においても森林の整備と保全に努めることが大きな課題となっており、森林作業員の確保・育成対策や関係団体への支援を行っていく必要があります。

基本方向

- 森林の持つ国土の保全、水源のかん養^{*}及び生活環境の保全等の公益に資する機能や木材などを生産する機能に配慮しつつ、森林の整備を総合的に行うため、関係団体と協力して森林の間伐や保育などの施業を進め、健全な森林の維持・造成の推進に努めます。

施策体系

3 林業の振興

(1) 森林の整備と保全

施策

(1) 森林の整備と保全

目指すこと

森林の持つ公益的機能の維持と森林資源の循環利用を図るため、関係機関と連携し森林の整備と保全に努めます。

取組の方向

- 国や北海道が実施する事業を活用し、造林をはじめ、間伐や保育の施業など健全な森林の育成を図ります。
- 地域林業において中心的な役割を担っている森林関係団体と協力した森林管理の推進を図ります。
- 北海道の事業による森林作業就労者の育成・確保を図ります。

施策成果指標

指標名	指標の内容	現状値		H27 目標値	H32 目標値
植栽・間伐面積	国や北海道の補助事業や民間事業による森林の植栽・間伐面積	H21	10 ha	15 ha	20 ha

基本計画

第2章 まちづくり編



ハーベスタによる玉切り作業



枝払い作業



植栽作業

用語解説

水源かん養……………森林が持つ重要な機能の一つとされており、雨水などの地表の水を一時期に流出させることなく蓄えることで、河川への流出量や流出時間を調整するとともに、一部の水は地下に浸透させることで地下水を供給する機能のこと。

第5章 活力ある産業拠点のまち

4 内水面漁業の振興

現状と課題

- 支笏湖のヒメマスは、明治 27 年（1894 年）に原産の阿寒湖から移殖されて以来、増殖のため継続してふ化放流事業に取り組み、貴重な水産資源となっており、平成 8 年にはサケとともに千歳市の魚に指定されています。
- ヒメマスは「チップ」の愛称で親しまれ、毎年 6 月から 8 月までの支笏湖におけるヒメマス釣り（チップ釣り）は初夏の風物詩となっています。また、支笏湖のヒメマスは美味しい魚として評判を得ており、重要な観光資源にもなっています。
- ヒメマスの資源量は、昭和 50 年代後半から減少しており、支笏湖の観光振興や地域経済にも影響を与えています。
- 資源の保護については、北海道内水面漁業調整規則により、ヒメマス釣りの期間や区域が制限されており、北海道などの関係機関と連携してルールへの遵守やマナーの徹底を図っています。
- 近年は釣り人も増加しつつありますが、最盛期のような資源回復には至っていない状況にあり、今後ともヒメマスの資源回復を図ることや支笏湖産ヒメマスの通年による安定した供給体制の確立が課題となっています。
- 資源の増殖については、平成 10 年（1998 年）に国が試験研究として行っていた「ふ化放流」に関する施設や事業を千歳市が継承し、さらに平成 20 年（2008 年）には支笏湖漁業協同組合が漁業権を取得したことから、現在は、組合と連携しながら「ふ化放流事業」に取り組んでいます。

基本方向

- ヒメマスふ化場の適正な維持管理と計画的な施設整備を行いながら、効率的な「ふ化放流事業」を進めます。
- 関係機関や団体などとの連携、増殖技術の指導などによる漁業団体の育成を図りながら、ヒメマスの資源保護と増殖に努め、支笏湖産ヒメマスの資源回復と安定した供給体制の確立を図ります。

施策体系

4 内水面漁業の振興

- (1) ヒメマス資源の保護・増殖
- (2) 内水面漁業の育成

施策

(1) ヒメマス資源の保護・増殖

目指すこと

市場などへのヒメマスの安定供給に向けた資源の保護と増殖に努めます。

取組の方向

- 支笏湖漁業協同組合と連携して、ヒメマスの増殖と安定した供給体制の確立に努めます。
- 法律に基づく各種規制の遵守や釣りのマナーなどについて、関係機関などと連携し、取締りや周知・啓発を促進します。
- 地方独立行政法人北海道立総合研究機構などの専門機関や支笏湖漁業協同組合などと連携して、ヒメマス資源の回復状況を把握する調査を実施します。
- ヒメマスの資源保護と増殖の効率化、防疫^{*}対策の充実を図るため、老朽化したふ化場や関連施設を整備します。

施策成果指標

指標名	指標の内容	現状値	H27 目標値	H32 目標値
ヒメマス放流数	稚魚放流数	H21 183,000 尾	195,000 尾	200,000 尾
ヒメマス釣獲数	釣獲数（組合員、遊漁者）	H21 66,000 尾	71,000 尾	72,000 尾

(2) 内水面漁業の育成

目指すこと

ヒメマス資源の保護・増殖事業をはじめとして、内水面漁業の育成を図ります。

取組の方向

- 漁業団体の増殖技術向上などを行うために必要な助言や技術指導を行います。
- 支笏湖産ヒメマスの観光資源としての活用方法について、支笏湖漁業協同組合と連携して検討を進めます。

施策成果指標

指標名	指標の内容	現状値	H27 目標値	H32 目標値
ヒメマス漁獲量	支笏湖漁業組合員の漁獲量	H21 3,300 尾	10,000 尾	12,000 尾

用語解説

防疫……………感染症（伝染病）の発生・伝播（侵入）を予防すること。近年、家畜などの口蹄疫やBSE、鳥インフルエンザなどの感染症が発生し、動植物の防疫対策が重要視されるようになった。

5 工業の振興

現状と課題

- 千歳市は、昭和 39 年（1964 年）に北海道の自治体で初の市営工業団地を造成して以来、市内には 10 か所の工業団地が整備されており、全体の分譲率は 7 割を超えています。
- 千歳市は、国際空港である新千歳空港と、高速道路、鉄道などが結節する北海道の一大交通拠点となっており、空港機能を最大限に生かした企業誘致を進めています。
- 千歳市は、電子部品、食品・飲料、自動車・機械金属、運輸・物流、試験・研究、医薬品など、240 社を超える多様な業種の企業が立地しています。
- 企業立地促進法に基づく「千歳市地域産業活性化基本計画」が、国の同意を受けたことにより、国、北海道及び支援機関による優遇制度の利用が可能となっています。
- JR南千歳駅前に千歳アルカディア・プラザが整備されており、千歳オフィス・アルカディア及び周辺地域に立地する企業に対して、各種支援事業を展開しています。
- 世界同時不況の影響を受け、製造業の減産、円高の進行、株価の低迷など、企業を取り巻く経済環境は厳しくなっており、企業の設備投資を喚起する取組が課題となっています。

基本方向

- 市内工業団地への企業立地を促進するため、千歳市の地域特性を生かした企業誘致を推進します。
- 多くの企業に市内工業団地の存在を知ってもらうため、千歳市の立地優位性を積極的にアピールする活動を推進します。
- 進出企業等の初期投資を軽減するための様々な取組を展開します。
- 千歳アルカディア・プラザの機能を活用し、地場企業の振興、起業家の育成などを推進します。
- 立地企業の設備投資を喚起するため、優遇制度の利用促進に努めます。
- 立地企業が円滑に企業活動を行えるよう、事務手続きのサポートや各種相談等のフォローアップを充実します。

施策体系

5 工業の振興

- (1) 企業誘致の推進
- (2) 立地企業等の支援

施策

(1) 企業誘致の推進

目指すこと

市民の雇用創出や地域産業の活性化を図り、市税収入の増加に結び付けていくため、地域の特性を生かした企業誘致を推進します。

取組の方向

- 千歳科学技術大学の特徴を生かした光関連産業や研究開発型産業のほか、交通の利便性を生かした物流関連産業や北海道の農作物を使用する食品関連産業などの誘致を推進します。
- 製造業をはじめ、情報通信業、コールセンター業^{*}、各種サービス業など、多様な業種の立地を促進することで、不況に強いバランスの取れた産業構造を目指します。
- 千歳市への立地可能性の高い分野の企業を訪問し、立地優位性をアピールします。
- インターネットや新聞など様々な媒体に広告を掲載するとともに、首都圏等で開催される産業展示会に出展し、工業団地のPRを行います。
- 土地リース事業、間接リース事業^{*}、空き工場の活用事業など、初期投資を軽減する事業を推進します。
- 千歳アルカディア・プラザ内にインキュベーション施設^{*}を設置し、創業して間もない企業に賃貸スペースを提供します。

施策成果指標

指標名	指標の内容	現状値	H27 目標値	H32 目標値	
立地企業件数 (累計)	H23年度からの立地企業件数の 累計(毎年5件を目標)	H21	—	25件	50件

(2) 立地企業等の支援

目指すこと

進出企業等に工場建設や設備投資を促すとともに、円滑な企業活動が行えるように立地企業等を支援します。

取組の方向

- 立地企業が行う設備投資や雇用増に対して、固定資産税相当額や雇用人数に応じた助成等を行うことにより、事業拡大を支援します。
- 立地企業や工業関係団体等と連絡を密にし、円滑な事業活動等ができるようサポート業務等を行います。
- 立地企業に対し、企業間交流を促進するための情報提供を行うなどフォローアップを充実します。

施策成果指標

指標名	指標の内容	現状値	H27 目標値	H32 目標値	
投資や雇用増に対する助成金額	千歳市工業等振興条例に基づく 助成金額	H21	116,774千円	170,000千円	180,000千円



第1・第2工業団地



麒麟ビール(株)千歳工場



(株)デンソーエレクトロニクス

用語解説

- コールセンター業……………商品の受注や問い合わせなど、顧客への電話対応業務を専門的に行う業種のこと。
- 間接リース事業……………工業団地の土地を民間企業等に分譲又は賃貸し、その企業等がその土地に建物を建設し、別の企業等に土地・建物を賃貸する制度事業のこと。
- インキュベーション施設……………新規に独立開業を目指す、あるいは創業して間もない起業家やベンチャー企業などを対象に、開業や事業の軌道乗せを支援するために提供する事業用施設のこと。インキュベーションとは「ふ化」を意味する。

6

高度技術産業の集積

現状と課題

- 千歳市では光科学技術をテーマとして、千歳科学技術大学やホトニクスワールドコンソーシアムなどを核に、産学官連携による研究開発を推進しています。
- 北海道においては千歳市・苫小牧市・恵庭市・安平町を「高度技術産学連携地域」と位置付け、新産業の創出・集積を目指し、産学官の連携による研究開発活動を支援し、産業の高度化・活性化を推進しています。

基本方向

- 千歳科学技術大学やホトニクスワールドコンソーシアムなどの研究開発機関の運営機能を強化し、産学官連携による光科学技術に関する研究開発を中長期的に支援することにより、世界的な光科学技術の研究開発拠点の形成を図ります。
- 北海道を牽引する新産業の創出・集積を進め、高度技術産業集積地域の形成を図ります。

施策体系

6 高度技術産業の集積

- (1) 光科学技術の研究開発拠点の形成
- (2) 高度技術産業集積地域の形成

施策

(1) 光科学技術の研究開発拠点の形成

目指すこと

千歳科学技術大学の研究機能や人材の活用を図り、ホトニクスバレープロジェクトに基づいた産学官連携事業の推進により、光科学技術の研究開発拠点を形成します。

取組の方向

- 光科学技術の産学官連携を推進するホトニクスワールドコンソーシアムの活動を支援します。
- 光科学技術に関する産学官連携の研究開発事業を支援し、千歳科学技術大学を中核とした研究開発拠点の形成を図ります。



施策成果指標

指標名	指標の内容	現状値	H27 目標値	H32 目標値
光科学技術研究開発数	光科学技術研究開発テーマの数	H21 7件	8件	9件

(2) 高度技術産業集積地域の形成

目指すこと

企業の新製品・新技術の開発活動を支援し、高度技術産業集積地域の形成を促進します。

取組の方向

- 企業の新製品の研究開発事業を支援します。
- 企業の高度技術産業を創出する新技術の研究開発事業を支援します。
- 財団法人道央産業技術振興機構が推進する事業を支援します。

施策成果指標

指標名	指標の内容	現状値	H27 目標値	H32 目標値
高度技術研究開発数	財団法人道央産業技術振興機構における採択事業数	H21 2件	3件	5件



セイコーエプソン(株)千歳事業所



千歳科学技術大学

7 商業の振興

現状と課題

- 車社会の定着、大型店舗の立地やネットショッピング^{*}の拡大等により消費者の購買形態が変化し、従来の地元商店街の弱体化が進んできました。また、外出や行動範囲が限られる高齢者が増加しており、高齢者が安定的に日用品を購入できる買い物環境をつくることが課題となっています。
- 中小企業の中には、景気悪化の影響を受けやすい経営基盤が脆弱な企業があることから、中小企業の育成を進め、経営安定化を図ることが求められています。
- 地域経済を活性化するため、地元の産品や技術を活用した魅力ある地域特産品の創出が求められています。

基本方向

- 高齢社会の進展に即した商業機能の維持に努めるとともに、市内での消費を喚起するため、商業者や関係機関と連携しながら商業活性化の取組を促進します。
- 中小企業の経営安定に資する融資や助成制度等の充実に努めます。
- 地域資源を活用した地域特産品を創出するため、事業者の自主的な商品開発や販売などの取組を促進します。

施策体系

7 商業の振興

- (1) 商業機能の活性化
- (2) 中小企業の経営支援
- (3) 魅力ある地域特産品の創出

施策

(1) 商業機能の活性化

目指すこと

高齢社会の進展を踏まえ、高齢者も便利に安心して買い物ができる環境づくりを目指すとともに、商業サービスの充足に努める商業者等の自発的な取組を支援し、商業機能の活性化を推進します。

取組の方向

- 高齢者の日常生活に必要な商業サービスの充足に努めます。
- 商業の担い手の育成を図りながら、中心商店街の活性化に向けた商業者等の取組を支援します。

- 地域のニーズに対応した商店街づくり等を支援します。

施策成果指標

指標名	指標の内容	現状値	H27 目標値	H32 目標値
年間商品販売額	商業統計調査による市内の卸売業、小売業の年間商品販売額	H19 16,746 千万円	(H24) 17,000 千万円	(H29) 17,000 千万円

(2) 中小企業の経営支援

目指すこと

産業構造や経済の変化の影響を受けやすい中小企業の経営の安定化を支援します。

取組の方向

- 国、北海道などの融資制度の活用を促進するとともに、市の融資制度の充実に努め、中小企業の経営安定化を図ります。
- 各種助成制度の拡充に努め、中小企業の健全育成を図ります。

施策成果指標

指標名	指標の内容	現状値	H27 目標値	H32 目標値
融資利用実績額	中小企業振興融資の利用実績額	H21 626 百万円	700 百万円	750 百万円

(3) 魅力ある地域特産品の創出

目指すこと

地域資源や技術を活用し、付加価値が高く魅力のある地域特産品の創出と育成を目指します。

取組の方向

- 魅力ある地域特産品を創出するため、商工業者や農業関係者等が意見交換できる交流の場づくりを促進します。
- 市内で生産される農産物や工業製品等の販売を促進するため、地域特産品の普及・啓発活動に努めます。

施策成果指標

指標名	指標の内容	現状値	H27 目標値	H32 目標値
千歳観光土産推奨品数	千歳観光土産推奨審査会が土産推奨品として認定する商品の数	H21 68 商品	80 商品	90 商品

用語解説

ネットショッピング……インターネットショッピングの略語で、インターネットを通じて買い物ができるサービスのこと。通信販売の一形態であり、多くの場合、ウェブブラウザの画面上で注文を受け付け、宅配業者によって商品を届けるという仕組みを使っている。

地産地消……地域で生産された生産物等を、その地域で消費すること。「地域生産・地域消費」を略した言葉。

8 流通機能の充実

現状と課題

- 千歳市公設地方卸売市場は、市民に安全で良質な生鮮食料品を安定して供給するための流通拠点としてその役割を果たしてきましたが、近年、輸入農産物の増加や流通業者における生産地との直接取引、ネットショッピング[※]を活用した流通が増加する傾向にあり、卸売市場を取り巻く環境は様々に変化しています。
- 流通環境の変化は、市場経由率の低下を招き、卸売市場における取扱高の減少につながることから、市場運営が一段と厳しくなるものと予想されます。
- 生産者と消費者を結ぶパイプ役として卸売市場が有する集荷、物流機能を維持し、流通の円滑化を図ることが求められています。

基本方向

- 市民に安全で良質な生鮮食料品を安定的に流通させるため、出荷団体や小売店等との連携を強化しながら、品揃えの充実と集荷力の向上を図り、活発な市場取引の促進に努めます。

施策体系

8 流通機能の充実

(1) 集荷・物流機能の確保

施策

(1) 集荷・物流機能の確保

目指すこと

安全で良質な生鮮食料品等を安定的に流通させるため、集荷・物流機能の確保に努めます。

取組の方向

- ・市内や近郊の産地から生鮮食料品等を迅速かつ効率的に集荷するとともに、消費者の視点で品揃えの充実を図り、小売店等への安定供給を促進します。
- ・地域の良質な農産物をセールスポイントとして幅広いPRや地産地消[※]の促進に努めます。
- ・流通環境や消費者ニーズの変化を踏まえ、食料流通基地としての位置付けや市場運営のあり方について検討し、地域における生鮮食料品等の円滑かつ効率的な流通機能の確保に努めます。

施策成果指標

指標名	指標の内容	現状値	H27 目標値	H32 目標値
青果取扱売上高	市場の卸売業者の年間売上高	H21 1,296 百万円	1,089 百万円	1,089 百万円

現状と課題

- 観光を取り巻く環境は、情報化や少子高齢化の進展、環境意識の高まり、観光のグローバル化^{*}による外国人観光客の増加など大きく変化しています。また、ライフスタイル^{*}などの変化を反映し、旅行形態や観光客のニーズも多様化しています。
- 近年、韓国、台湾、中国などアジア圏を中心に北海道を訪れる外国人観光客が増加しています。また、新千歳空港国際線ターミナルビルの供用など、国際機能の強化により、更に多くの外国人観光客の来道が予想されます。
- 平成21年（2009年）2月に設立された「さっぽろ広域観光圏推進協議会」を中心に近隣市町村、事業者、関係機関・団体と連携して、滞在型観光や外国人観光客の受入れ体制の整備などを進める必要があります。
- 市内には、支笏洞爺国立公園に指定されている支笏湖地域をはじめ、体験農場や市街地のアウトレットモール^{*}、道の駅サーモンパーク千歳、施設見学できる工場、四季や地域の魅力を発信する各種イベントなど、様々な観光資源・施設が存在しています。
- 道の駅サーモンパーク千歳は、年間65万人を超える来場者のある市内有数の集客施設ですが、施設の老朽化や観光ニーズの多様化などにより、道の駅の機能充実、魅力的な施設づくりが求められています。
- 支笏湖地域の観光入込客数は減少傾向にあり、観光による地域の活性化を図るため、原始の自然を体感できるキャンプ場の整備、自然探勝の機会創出など、更なる魅力づくりを進めるとともに、支笏湖地区の重要な観光資源である温泉の安定した供給を維持する必要があります。

基本方向

- 地域の魅力を向上させるため、千歳市が持つ特性を生かしながら、多様化する観光ニーズに対応できる観光資源の魅力づくりなどを推進します。
- 観光客の再訪を促進するため、観光事業者や市民のおもてなし意識の向上を図るなど、受入れ環境の充実に努めます。
- 千歳市が有する観光資源等の認知度を高めるため、イベントや各種媒体を効果的に活用するなど、的確な情報発信に努めます。

施策体系

9 観光の振興

- (1) 観光都市としての魅力づくり
- (2) 観光客の満足度を高める受入れ環境の充実
- (3) 観光客誘致宣伝活動の推進

施 策

(1) 観光都市としての魅力づくり

目指すこと

四季の魅力を発信するイベントの振興や観光資源の維持・充実など、観光都市としての魅力づくりを推進します。

取組の方向

- ・道内の観光地を周遊する観光客を誘致するため、「農村地区」・「市街地地区」・「支笏湖地区」の資源間の連携を強化するほか、近隣市町村と連携した広域的な周遊観光ルートを設定するなど、観光地としての魅力増進を図ります。
- ・支笏湖地区の重要な観光資源である温泉の安定した供給に努めます。
- ・観光客の滞在時間の拡大を図るため、キャンプ場の利便性向上や農業者・農業団体などとの連携による農業体験をはじめとした体験型観光の充実に取り組みます。
- ・集客力のある道の駅サーモンパーク千歳を整備し、市街地地区の更なる魅力づくりを推進します。
- ・交通の利便性や宿泊施設の集積などの地域特性を生かしながら、コンベンション機能[※]の充実を図ります。
- ・四季折々に開催しているイベント内容の充実を図り、より多くの観光客が楽しめるよう、更なる魅力づくりを推進します。
- ・地域の特産物等を活用した料理や商品の開発・販売を支援するなど、食の魅力づくりを推進します。
- ・自然環境を損ねることなく地域の恵みを生かした持続可能な観光を振興するため、エコツーリズム[※]など自然とのふれあいや、温泉・健康をテーマとした新たな魅力づくりを促進します。

施策成果指標

指標名	指標の内容	現状値	H27 目標値	H32 目標値
観光入込客数	市内の観光地点を訪れた年間観光入込客数	H21 4,956 千人	5,204 千人	5,464 千人

(2) 観光客の満足度を高める受入れ環境の充実

目指すこと

観光客の満足度を高めるため、観光事業者のほか市民を含めたおもてなし意識や観光案内機能の向上など、観光客の受入れ環境の充実を図ります。

取組の方向

- ・観光客の再訪を促すため、観光客の満足度を把握するとともに、観光事業者のおもてなし意識の向上など接遇面における観光客の満足度向上を図る取組を進めます。
- ・外国人や国内の個人・小グループの旅行者が安心して観光できるよう、観光案内所の機能強化、観光ガイドの体制整備、観光パンフレット類の充実、観光案内板の整備などを促進します。
- ・市民一人ひとりが千歳の観光を支えるという意識を醸成するため、観光事業者や関係機関等との連携を強化し、市民協働による取組の推進や市民との情報の共有化に努めます。

施策成果指標

指標名	指標の内容	現状値	H27 目標値	H32 目標値
平均宿泊日数	観光宿泊客延べ数／観光宿泊客数	H21 1.23 日	1.35 日	1.49 日
観光客満足度	観光サービスに対する観光客の満足度	H21 -	↗	↗

(3) 観光客誘致宣伝活動の推進

目指すこと

国内外からの観光客の来訪を促すため、旅行形態や観光客のニーズに対応した効果的な誘致宣伝活動を推進します。

取組の方向

- 旅行情報入手手段の多様化やロケ撮影の誘致に対応するため、ホームページを充実するとともに、インターネットやテレビ、旅行雑誌などの各種媒体を活用した情報提供に努めます。
- 道内を周遊する観光客に対応するため、道内の観光関係機関や団体と連携した広域的な誘致宣伝活動に努めます。

施策成果指標

指標名	指標の内容	現状値	H27 目標値	H32 目標値
観光宿泊客延べ数	観光のため市内の宿泊施設を利用する延べ宿泊客数	H21 252.3 千人泊	282.6 千人泊	316.5 千人泊



千歳サケのふるさと館



インディアン水車

用語解説

グローバル化……………人々の行動や経済活動、情報通信などが国境を越えて、地球的規模、地球的視野で行われるようになること。

ライフスタイル……………生活の様式や営み方に加え、人生観や価値観、習慣などを含めた個人の生き方や考え方のこと。

アウトレットモール…………アウトレットとは、工場から直接出された商品を意味し、もともとアメリカの流通業界において、ブランド・メーカーの衣料品やアクセサリーなどの、流行遅れ商品や通販のクーリングオフ品、実用上は問題のない欠格品（いわゆる「半端もの」「訳あり品」「棚ずれ品」など）を処分するために、工場や倉庫の一角に「アウトレットストア」と呼ばれる在庫処分店舗が存在していたものを、複数メーカーの直販店舗を一堂に集積（モール化）させたショッピングゾーンのこと。

コンベンション機能…………規模の大きな会議やイベント、各種大会などを開催するための機能のこと。会議場や催事場、スポーツ施設などのほか、催し物の開催、運営をサポートする施設やサービスなどが含まれる。

エコツーリズム……………自然環境や歴史文化を対象とし、それらを体験し、学ぶとともに、対象となる地域の自然環境や歴史文化の保全に責任を持つ旅行形態のこと。

10 雇用の安定

現状と課題

- 雇用情勢が厳しい状況にある中で、就業形態が不安定な非正規労働者を中心に雇用不安が続いており、また、若者の就職率低下などの雇用悪化が社会的な問題になるなど、だれもが意欲と能力に応じて働くことのできる雇用環境の確保が大きな課題となっています。
- 勤労者の生活の安定など豊かでゆとりある職場環境づくりの支援や、勤労者が健康で安心して働ける勤労者福祉の充実が求められています。

基本方向

- 雇用情報の収集・提供機能の充実に努めるとともに、求職者の職業能力の向上を促し、雇用の促進と安定化を図ります。
- 勤労者が豊かで健やかな生活を送ることができる社会の実現を目指し、労働環境の向上、労働福祉の充実、福利厚生事業への支援に努めます。

施策体系

10 雇用の安定

- (1) 雇用対策の促進
- (2) 勤労者福祉の促進

施策

(1) 雇用対策の促進

目指すこと

雇用情報の収集・提供や企業誘致の推進による雇用機会の創出など、雇用対策を促進します。

取組の方向

- ・地場産業の振興や企業誘致を図り、雇用の場の確保と拡充に努めます。
- ・雇用情報センターを中心にハローワークなどの関係機関と連携し、雇用に関する情報提供等を行い求職者の就労を支援するとともに、若者、高齢者、季節労働者等の就業機会確保などの取組を推進します。
- ・職業訓練の利用促進などを図り、求職者の技能養成や職業能力の向上を支援します。

施策成果指標

指標名	指標の内容	現状値		H27 目標値	H32 目標値
千歳・恵庭地区就職率	千歳・恵庭地区の新規求職者に対するハローワーク千歳の紹介により就職した者の割合	H21	23%	24%	25%

(2) 勤労者福祉の促進

目指すこと

労働環境の向上、労働福祉の充実、福利厚生事業への支援などの勤労者福祉を促進します。

取組の方向

- 勤労者の生活の安定と福祉の向上を図るため、生活資金制度の周知・利用促進や福利厚生事業の支援を進めるとともに、国や北海道などの関係機関と連携し、雇用・労働環境などに関する普及・啓発や相談体制の充実に努めます。

施策成果指標

指標名	指標の内容	現状値		H27 目標値	H32 目標値
勤労者生活資金貸付件数	勤労者に対する生活資金の貸付件数	H21	0件	5件	10件



ハローワーク職業相談